

被災自治体への技術支援 ～災害緊急調査～【秋田県 (R5.8.2～3)】

- 国土交通省の災害査定官が速やかに被災箇所へ赴き、被災自治体に対して、災害復旧の迅速化に向けた復旧方針・工法等の技術的支援・助言を実施
- 要請のあった秋田県において、計8箇所（県管理施設4箇所、秋田市管理施設3箇所、五城目町管理施設1箇所）の緊急調査を実施



その他町道
町村門前幹線(五城目町)



その他市道
飯島川端古道線(秋田市)



一級河川岩見川(秋田市)



主要地方道
秋田岩見船岡線 新川橋(秋田市)

■災害査定官による主な助言内容

【8月2日(水)／1日目】

【五城目町管理施設】

- 町道 町村門前幹線(五城目町)
 - ・被災水位等の整理すること。
 - ・橋梁の健全度調査を実施し、被災の状況を十分に把握すること。その上で部分被災の場合は、改良復旧事業による架け替えも検討すること。
 - ・応急仮工事の採択要件を整理し、迂回路として仮橋の設置位置や取り付け構造を早急に検討すること。
 - ・唯一の迂回路が冬季閉鎖区間であることから、迂回路の確保も含めて早急に復旧できるよう工程等検討すること。

【秋田県管理施設】

- 主要地方道 秋田北野田線 秋田中央道路トンネル(秋田市)
 - ・冠水した水位を確認し、被災メカニズムから、既存施設や機器の被災範囲の関係を十分整理すること。
 - ・トンネル内の湛水をポンプ排水することについては、本復旧の施行に必要となるため、応急本工事として整理すること。
 - ・被災原因の除去の検討にあたり、内水被害の対策と二重対策とならないよう関係者と十分に調整を行うこと。
 - ・被災施設の原型復旧だけでなく改良復旧も検討すること。

【秋田市管理施設】

- 市道 飯島川端古道線(秋田市)
 - ・現地をよく確認し、被災メカニズムを整理すること。
 - ・橋梁の健全度を確認し被災がないのであれば取り付け部分の道路災として申請すること。
 - ・接続する堤防や近接する農地や取水施設と関係することが考えられるため関係者と十分調整すること。
- 市道 広域河辺北野田線(秋田市)
 - ・被災したボックスカルバートの健全度を確認し、被災範囲を整理すること。
 - ・被災メカニズムを整理し、被災原因の除去となるよう対策を検討すること。

【8月3日(木)／2日目】

【秋田県管理施設】

- 主要地方道 秋田岩見船岡線 新川橋(秋田市)
 - ・簡易水位計の情報や痕跡から被災水位を確認しておくこと。
 - ・橋梁の健全度調査を行い死に体の範囲を整理すること。特にA1橋台の被災の有無により検討の方針が変わるため留意すること。
 - ・上部工とA2は不安定であるため、応急本工事として撤去を検討すること。
 - ・上下流の護岸の被災箇所については、被災メカニズムを整理し被災原因の除去となる工法を検討すること。なお、縦断勾配がきつく流速の低減が必要であれば、落差工等の設置も比較対象として検討すること。

【一級河川 岩見川(秋田市)】

- 連続する破堤箇所それぞれの被災メカニズムを整理し、被災原因の除去となるよう対策を検討すること。その際、二重対策とならないよう留意すること。
- 主要地方道 秋田岩見船岡線 旭川歩道(秋田市)
 - ・復旧工法の検討にあたり、被災原因を特定する必要があるため、被災時の河川水位と内水状況を時系列で確認し、被災前の施設状況も含め被災メカニズムを整理すること。
 - ・欠壊防止の実施については、背後施設の重要性を整理し、必要な対策を応急仮工事として申請すること。
 - ・被災原因の除去となるよう工法を検討すること。

【秋田市管理施設】

- 市道 上北手百崎2号線 山手台14号線(秋田市)
 - ・有識者に確認をとりながら滑り面確定に向けて調査を進めること。
 - ・想定地すべりブロック内に家屋が存在するため、地権者の意向を確認すること。補償については対策工法と併せて検討すること。
 - ・抑え盛土や排水ボーリングの実施は本復旧の対策を意識して実施すること。
 - ・調査結果が出るタイミングで防災課と協議すること。



緊急調査状況(町村門前幹線)



緊急調査状況/机上(飯島川端古道線)



緊急調査状況(岩見川)



取材対応状況(秋田岩見船岡線 旭川歩道)